

第 20 回 日本生殖看護学会学術集会

2022

開催趣意書

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing

第 20 回日本生殖看護学会学術集会 開催にあたって

この度、第 20 回日本生殖看護学会学術集会の会長を務めさせていただきます。株式会社ファミワンの西岡有可でございます。本学術集会は昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染状況を鑑み WEB 開催とさせていただくことに致しました。

今回のメインテーマは、「SDGs の視点から性と生殖の健康支援を再考する」としました。

SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指し、2015 年に国連サミットで採択された 17 の国際目標です。

SDGs と聞くと、日常の看護実践の中では意識しにくい大きなテーマのように感じることもあるかもしれません。ですが、目標をひとつずつ確認してみると、私たちの生殖看護に関わることが大変多いことに気がつきます。

例えば、「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」の中には具体的に「2030 年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。」というターゲットが設定されています。「4. すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」では性教育やプレコンセプションケアの充実、「5. ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」では、女性であることが性と生殖の健康を脅かさなためための支援、「8. すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する」においては不妊治療と仕事との両立、「11. 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする」では、街全体で住民の性と生殖を守るサポート、「16. 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する」では、どんな人も自分の性と生殖の健康についての選択が公平にあるべきであることへの支援の必要性が挙げられています。こう考えてみると、17 つの目標のうちの多くが私たち生殖看護をするものが携わることのできる目標だとわかります。

また、私たちの生活環境は大きく変化しています。未曾有の感染症が猛威を振るい、私たちはさまざまな制限の中で暮らすようになりました。不妊治療を受ける方の受診環境にも変化がありました。さらに、IT 技術が一般化され、オンラインでの受診や相談が可能になり、制限のある環境の中でも医療や看護へとアクセスすることが可能になりました。そして、いよいよ 2022 年 4 月より不妊治療の保険適用化が開始されます。

このように私たちが支援すべき方々の環境が大きく変化する今、私たちは何をどう考え、どのように支援することが望ましいのか。私たちの支援の可能性が大きく広がり、また豊かになることで「だれ一人取り残さない」社会への実現に近づけるのではないかと考えています。

ぜひこの第 20 回日本生殖看護学会学術集会へのご参加をお待ちしております。

2022 年 2 月吉日

第 20 回日本生殖看護学会学術集会
学術集会長 西岡 有可
(株式会社ファミワン)

第20回日本生殖看護学会学術集会のご案内

「SDGsの視点から性と生殖の健康支援を再考する」

2022年9月4日（日）Web開催

プログラム

09:00～	開会式・オリエンテーション
09:05～09:25	会長講演「看護実践のその先へ」 西岡 有可氏（株式会社ファミワン / 不妊症看護認定看護師）
09:25～10:10	教育講演「生殖看護はSDGsか」 村上 芽氏 （株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト）
10:15～11:00	特別講演「不妊治療の保健適用化の動向と現状」 原澤 朋史氏（厚生労働省 保険局 医療課 医療技術評価推進室長補佐）
11:05～12:05	一般演題（口演発表・ポスター発表）
12:10～13:00	協賛セミナー
13:00～14:50	シンポジウム1「不妊とSDGs—すべての人の性と生殖の健康を目指して—」 大須賀 穰氏（東京大学 医学系研究科産婦人科講座 教授） 宮路 拓馬氏（自由民主党衆議院議員 内閣府政務官） 横井 ナナ氏（公益財団法人ジョイセフ パートナーシップグループ長） 田村 有樹子氏（株式会社サイバーエージェント 人事部）
15:00～16:15	シンポジウム2「不妊治療は保険適用でどう変わったか」 杉山 カ一氏（杉山産婦人科 理事長） 村上 貴美子氏（蔵本ウイメンズクリニック 副院長 / 不妊症看護認定看護師） 東尾 理子氏（妊活研究会 主宰）
16:20～16:50	不妊症看護認定看護師特別企画 一般婦人科におけるCN看護相談 地域でのCN実践報告 白田 浩美氏（茅場町いとう病院） 大嶺 美幸氏（友愛医療センター）
16:50～	優秀演題表彰
17:00	閉会式

※プログラムは予告なく変更となる場合がございます

▼最新情報は第20回日本生殖看護学会学術集会公式サイトをご確認ください。

<https://academic-meeting.com/jsfn20th/>

学術集会公式サイトQRコード



1. 会議の名称

和文名：第20回日本生殖看護学会 学術集会

英文名：The 20th annual meeting of the Japanese Society of Fertility Nursing

テーマ：SDGsの視点から性と生殖の健康支援を再考する

2. 主催機関

第20回日本生殖看護学会 学術集会企画委員会

3. 開催時期

2022年9月4日（日）

4. 開催方法

Web オンライン&オンデマンド配信

5. 学術集会の概要

1) 日程 2022年9月4日（日）9時00分～17時00分

2) 主要題目（予定） 会長講演：「看護実践のその先へ」
教育講演：「生殖看護はSDGsか」
特別講演：「不妊治療の保険適用化の動向と現状」
一般演題（口頭発表、ポスター発表）
シンポジウム1：「不妊とSDGs ーすべての人の性と生殖の健康を目指してー」
シンポジウム2：「不妊治療の保険適用化でどう変わったか」
不妊症看護認定看護師特別企画：
「一般婦人科におけるCN看護相談」「地域でのCN実践報告」

3) 参加予定数 約260名

4) 会議使用言語 日本語

5) 会議内容の刊行 発表内容の抄録をプログラム・講演集として印刷・発行

6. 予算案

【収入】

参加費	事前登録(会員)	5,000円×200名	1,000,000	1,320,000
	事前登録(非会員)	6,000円×50名	300,000	
	事前登録(学生)	2,000円×10名	20,000	
広告・寄付等	団体・企業	広告：50,000円×4社	200,000	360,000
		広告：30,000円×3社	90,000	
		広告：20,000円×2社	40,000	
		寄付：10,000円×3社	30,000	
学術集会補助金			500,000	500,000
合計				2,180,000

【支出】

企画準備費	会議費・需用費・通信費・予備費	1,619,463
学術講演集	プログラム・講演集	400,537
当日運営費	講師謝金	160,000
合計		2,180,000

第 20 回日本生殖看護学会学術集会 企画委員

学術集会長	西岡 有可	株式会社ファミワン
企画委員	上澤 悦子	京都橘大学
	坂上 明子	武蔵野大学
	村上 貴美子	蔵本ウイメンズクリニック
	遊佐 浩子	北里大学病院
	源川 京子	株式会社ファミワン
	栗原 由美	株式会社ファミワン

日本生殖看護学会 理事・監事

理事長	上澤 悦子	京都橘大学
副理事長	坂上 明子	武蔵野大学
総務	森 明子	湘南鎌倉医療大学
会計	清水 清美	城西国際大学
	中村 希	聖路加国際病院
編集	實崎 美奈	産業医科大学
将来検討	坂上 明子	武蔵野大学
実践開発	小松原 千暁	IVF 大阪クリニック
教育推進	野澤 美江子	東京工科大学
	奥島 美香	府中のぞみクリニック
	中村 希	聖路加国際病院
広報	崎山 貴代	愛媛大学
監事	村本 淳子	浜松医科大学
	森 恵美	千葉大学

賛助のお願い

第20回日本生殖看護学会学術集会の開催に伴うご協力につきましては、下記の要領により、よろしくお願い申し上げます。

記

賛助の形態

1. 寄付
2. プログラム・講演集広告、ホームページバナー掲載
3. 協賛セミナー

賛助金送付先

金融機関利用

【銀行名】三菱UFJ銀行 【店名】自由が丘支店 【店番】794

【預金種目】普通預金 【口座番号】0349965

【口座名義】第20回日本生殖看護学会 学術集会 会長 西岡 有可

【カナ名義】ダイニジュッカイニホンセイシヨクカンゴガッカイガクジュツシュウカイカイチョウ
ニシオカユカ

お申込み方法

学術集会ホームページにあります、申込みフォームより申し込みの手続きをお願いいたします。

申込を受理した旨を貴社ご担当者様に事務局よりご連絡いたしますので、お申し込み後1週間以上経過しても連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

お申し込み期限：2022年5月27日（金）

賛助金送付期限：2022年6月24日（金）

以上

第20回 日本生殖看護学会学術集会 事務局

第20回日本生殖看護学会学術集会の住所は下記事務局に置くものとする。

〒107-0062 東京都港区南青山7-3-6 南青山HYビル7F 荒井財団 株式会社ファミワン内

事務局 E-mail アドレス：jsfn20th@academic-meeting.com

学術集会 HP アドレス：https://academic-meeting.com/jsfn20th/

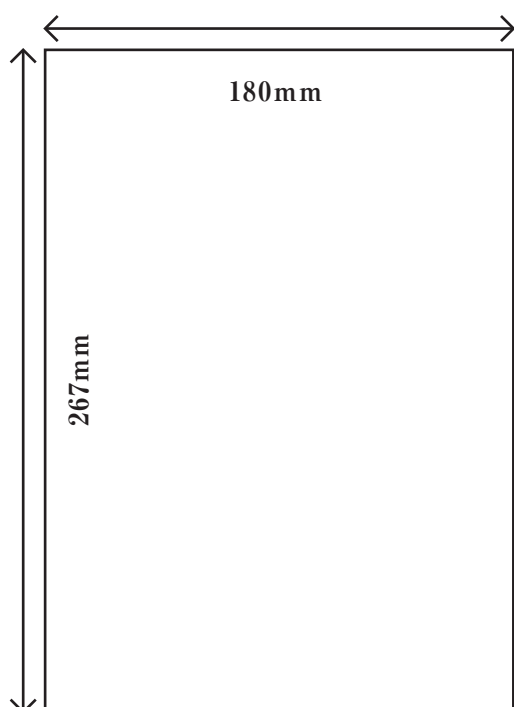
事務局担当：栗原

プログラム・抄録集広告・ホームページバナー広告掲載の詳細案内

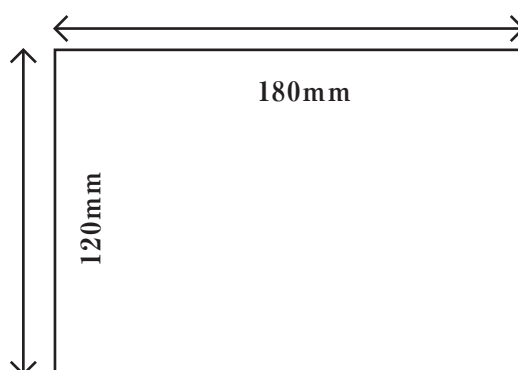
抄録集発行部数	350部 学会員および学会参加者の配布用として作成
広告掲載料金	A4判 1ページ 250mm×180mm ホームページバナーあり 55,000円(税込) A4判 1/2ページ 120mm×180mm ホームページバナーなし 33,000円(税込) A4判 1/4ページ 120mm×85mm ホームページバナーなし 22,000円(税込) ※広告はすべてモノクロです。
広告用原稿	原稿は電子データでの送付をお願い致します。 お預かりの原稿に関しては、基本のご返却致しかねます。
フォント	データフォントは全てアウトライン化をお願い致します。
データの送付先	第20回 日本生殖看護学会学術集会 事務局 株式会社ファミワン 〒107-0062 東京都港区南青山7-3-6 南青山HYビル7F 荒井財団 事務局 E-mail アドレス：jsfn20th@academic-meeting.com 事務局担当：栗原
データ締切日	2022年6月22日(水) 必着
抄録集の発送	お振り込みが確認できましたら、プログラム・講演集1部を郵送いたします。
賛助金送付先	金融機関利用 【銀行名】三菱UFJ銀行 【店名】自由が丘支店 【店番】794 【預金種目】普通預金 【口座番号】0349965 【口座名義】第20回日本生殖看護学会 学術集会 会長 西岡 有可 【カナ名義】ダイニジュッカイニホンセイシヨクカンゴガツカイガクジュツシュウカイカイ チョウニシオカユカ

抄録集広告掲載詳細案内

A4判 1ページ広告
掲載料金 55,000円



A4判 1/2ページ広告
掲載料金 33,000円



A4判 1/4ページ広告
掲載料金 22,000円

